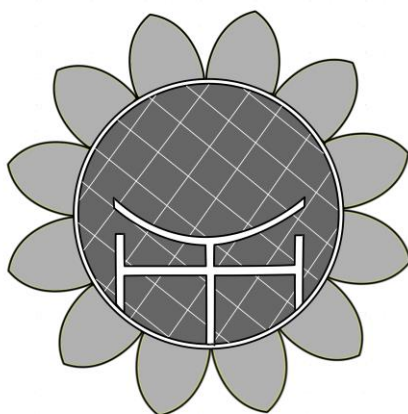


学 校 要 覧

令和4年度



横浜市立東俣野特別支援学校



目 次

1. 校名等	1
2. 沿革	1
3. 学校教育目標	3
4. 学校経営中期目標	3
5. 東俣野特別支援学校の教育	3
6. 教育課程のグループ	4
7. 訪問教育について	7
8. 児童生徒数	7
9. 発達の様子	8
10. 職員数	8
11. 学校運営組織・校務分掌	9
12. 主な年間行事予定	10
13. スクールバスコース	11
14. 学校案内図	12

1. 校名等

校 名：横浜市立東俣野特別支援学校

校 長 名：長岡 利保

所 在 地：〒245-0065 横浜市戸塚区東俣野町 1103-1

電話：(045)851-9631(代) FAX：(045)851-9632

U R L：http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/ss/higashimatano/

e-m a i l：yse-mata@edu.city.yokohama.jp

施設概要：校地面積 10,570 m²

校 舎 鉄筋コンクリート2階建

建築面積 910 m²

延床面積 2,003 m²

2. 沿革

- S.54.10.17 養護学校義務制に伴い、中和田南小学校内に本郷養護学校中和田南方面分教室を開設（市西部地区の訪問指導を担当）
- S.61.4.1 同分教室を前身として、市立東俣野小学校を同一校地内に併設する形で、横浜市立東俣野養護学校を開設
- S.61.4.1 中田 豊太郎 初代校長就任
- S.62.3.3 校歌、校章、校旗、完成披露
- S.62.4.1 高田 幹夫 第2代校長就任
- H.2.4.1 斉藤 信 第3代校長就任
- H.3.2.9 創立5周年記念式挙行（東俣野小学校と共催）
- H.3.2.14 横浜市学校保健優良校「保健教育の部」受賞
- H.3.4.1 森川 弘敏 第4代校長就任
- H.4.4.1 安田 由美子 第5代校長就任
- H.5.2.24 横浜市障害児教育実践研究推進校としての研究発表会開催
- H.5.8.5 日本肢体不自由教育研究会「障害の重い子どもの食事指導」奨励賞受賞
- H.5.11.16 NHK教育テレビ「子ども療育相談」にて、本校の教育を紹介
- H.7.2.16 横浜市学校保健優良校「保健管理の部」受賞
- H.7.4.1 伊藤 要次 第6代校長就任
- H.7.6.17 創立10周年記念式挙行（東俣野小学校と共催）
- H.9.4.1 松尾 隆信 第7代校長就任
- H.11.3.25 給食調理室新設及びバスターミナル改修
- H.12.4.1 佐藤 俊夫 第8代校長就任
- H.14.4.1 及部 猛 第9代校長就任
- H.15.4.1 横浜市立上菅田養護学校高等部東俣野分教室 開級
- H.15.6.20 横浜市優良PTA受賞
- H.16.3.20 横浜市立上菅田養護学校高等部東俣野分教室 完成
- H.17.4.1 久保田 光 第10代校長就任

- H. 17. 11. 12 創立 20 周年記念式挙行（東俣野小学校と共催）
- H. 18. 11. 27 優良 P T A 神奈川県教育委員会表彰
- H. 19. 4. 1 宮内 幸延 第 11 代校長就任
- H. 19. 4. 1 「東俣野養護学校」から「東俣野特別支援学校」と名称を変更（同「上菅田特別支援学校高等部東俣野分教室」と変更）
- H. 20. 10. 6 大崎博史氏を会長として、小学校と分離した学校づくり懇話会設立
- H. 21. 11. 18 優良 P T A 文部科学大臣表彰
- H. 22. 4. 1 星野 勉 第12代校長就任
- H. 22. 4. 1 校名変更に伴い、校歌、校章、校旗を変更
- H. 23. 4. 1 「東俣野特別支援学校高等部」設置（「上菅田特別支援学校高等部東俣野分教室」から移行）
- H. 24. 3. 21 小中学部 第26回 卒業証書授与式
- H. 24. 4. 1 小林 靖 第13代校長就任
- H. 25. 3. 18 高等部 第1回 卒業証書授与式
- H. 25. 3. 21 小中学部 第27回 卒業証書授与式
- H. 27. 4. 1 井川 章弘 第14代校長就任
- H. 27. 11. 7 創立30周年記念式挙行（東俣野小学校と共催）
- H. 28. 1. 14 横浜市学校保健優良校「保健管理の部」受賞
- H. 28. 4. 1 学校教育目標改訂（目指す学校像…「えがおいっぱい ふれあいいっぱい あたたかさいっぱい」を設定）
- H. 29. 1. 19 横浜市学校保健優良校「保健教育の部」受賞
- H. 30. 4. 1 仲程 剛 第15代校長就任
- R. 02. 4. 1 福島 豊 第16代校長就任
- R. 04. 4. 1 長岡 利保 第17代校長就任

3. 学校教育目標

＜東俣野特別支援学校が目指す学校像＞

「えがおいっぱい ふれあいいっぱい あたたかさいっぱい」

気持ちや思いを表現する力を育てます (知) (徳)

健康な体と豊かな心を育てます (体) (徳)

地域の一員として、自立する力を育てます (公) (開)

4. 学校経営中期目標

○肢体不自由特別支援学校としての高い専門性のある学校を目指す

①授業力・指導力の向上 ②個に応じた的確な指導の充実 ③自己肯定感を育む指導の充実

○関わりを大切にしている学校を目指す

①組織的かつ柔軟な支援体制の構築 ②風通しの良い職場環境の醸成 ③保護者や地域・関係機関との連携強化

○誰もが安心できる学校を目指す

①支援体制の整備 ②施設・設備の充実 ③危機管理体制の再構築

5. 東俣野特別支援学校の教育

(1) 教育課程の種類 (3つのグループ)

本校には3つのグループの教育課程があり、主たる教育課程を第3グループに基づいて編成する。第1グループ、第2グループに該当する児童生徒については、個別に教育課程を編成する。

- ・第1グループ (肢体不自由者に対する教育課程)
小学校・中学校・高等学校に準ずる・下学年の教育課程
- ・第2グループ (知的障害者に対する教育課程)
知的障害代替の教育課程。
- ・第3グループ (肢体不自由と知的障害などの重複障害者に対する教育課程)
自立活動を主とする教育課程

(2) 学校教育目標・教育課程全体計画構造図



6. 教育課程のグループ

平成31年度より名称を変更。
すべてのグループにおいて「指導内容等により、柔軟に設定することができる」とする。

第1グループ
「小中高等学校に準ずる・下学年の教育課程」

第2グループ
「知的障害代替の教育課程」

第3グループ
「自立活動を主とする教育課程」

(1) 第1グループ(小中高等学校に準ずる・下学年の教育課程)

小・中高等学校の教育課程に準じて行うものとし、以下の内容を基本としながら弾力的な教育課程を個別に編成するものとする。

ア 教育内容(各教科・科目等)

- 小学部 国語・社会・算数・理科・生活・音楽・図画工作・家庭・体育・YICA・特別の教科道徳・特別活動・総合的な学習の時間・自立活動
※学習する該当学年は小学校に準じる。
- 中学部 国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術家庭・外国語・特別の教科道徳・特別活動・総合的な学習の時間・自立活動
- 高等部 国語・地理・歴史・公民・数学・理科・保健体育・芸術・外国語・家庭・情報・職業・特別活動・総合的な探求の時間

イ 日課表

以下の日課表を基本としながら、児童生徒の状態、所属学級の指導体制、1グループの日課表を考慮して、1単位時間を30分にするなど、柔軟に設定する。

<日課表例>

小学部 (1単位45分)			中学部 (1単位50分)	
	1学年	2~6学年		
9:15~9:30	自立活動 (15分)		9:20~9:30	HR
9:30~10:15	①	①	9:30~10:20	①
10:15~11:00	②	②	10:20~10:25	自立活動
11:00~11:45	③	③	10:25~11:15	②
11:45~12:30	給食~12:45	給食	11:15~11:20	自立活動
12:30~13:15	12:45~自活	④	11:20~12:10	③
13:15~14:00	④	⑤	12:10~12:45	給食 (自立活動)
14:00~14:30	自立活動 (30分)		12:45~13:30	④
●小学部1学年 5.6単位×5日×34週=952/年 年間総授業時数952 (横浜標準870)			13:30~13:35	自立活動
			13:35~14:20	⑤
			14:20~14:30	自立活動
●小学部2~6学年 6単位×5日×35週=1050/年 年間総授業時数1050 (横浜標準930~1000)			●6.2単位×5日×35週=1085 (横浜標準1015)	

高等部基本時間割の例

教育課程表に基づき学年ごとに定める。

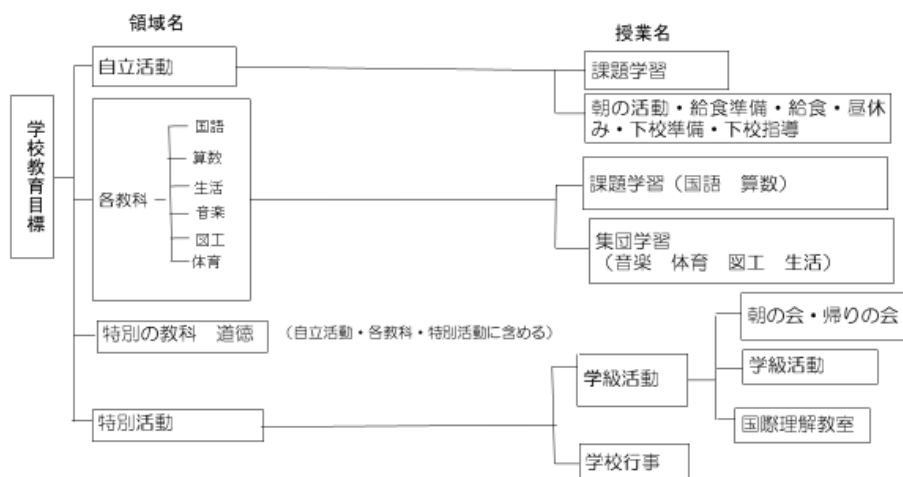
*第1学年 (教科名等は参考) ※指導内容等により、柔軟に設定する。

	月	火	水	木	金
9:30~9:40	自立活動 (ADL)				
9:40~10:30	国語総合	C英語 I	科学と人間生活	体育	産業社会と人間
10:30~10:50	自立活動				
10:50~11:40	現代社会	国語総合	C英語 I	社会と情報	数学 I
11:40~12:20	自立活動 (給食・ADL)				
12:20~13:10	生物基礎	保健	国語総合	C英語 I	家庭基礎
13:10~13:20	自立活動				
13:20~14:10	音楽 I	総合的な探求の時間	産業社会と人間	現代社会	HR
14:10~14:30	自立活動 (ADL)				

(2) 第2グループ (知的障害代替の教育課程)・3グループ (自立活動を主とする教育課程)

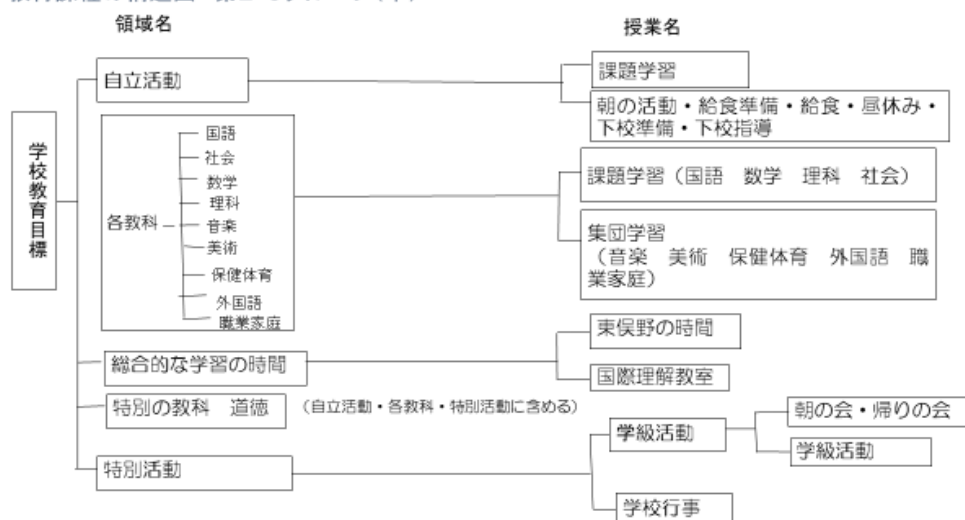
<小学部>

教育課程の構造図 第2・3グループ(小)



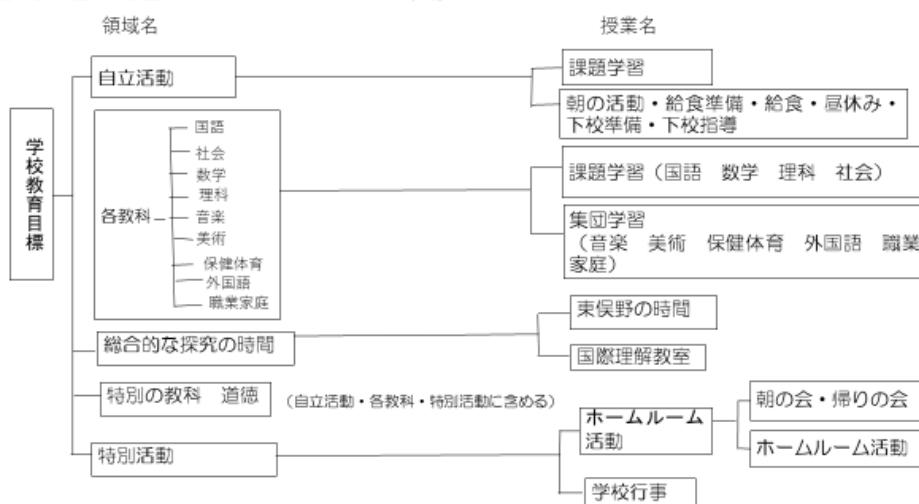
< 中学部 >

教育課程の構造図 第2・3グループ(中)



< 高等部 >

教育課程の構造図 第2・3グループ(高)



ア 教育内容

教育内容と主な学習単位

課題学習

形態：個別を基本に行うが、教員と児童生徒が必ずしも1対1の体制をとれないことから、必要に応じて小グループ編成等の工夫をして行う。

内容：個々の実態に応じて各教科と自立活動を適切に設定する。

設定する教科：小学部…国語 算数 中学部…国語 数学 社会 理科

高等部…国語 数学 社会 理科

設定する領域：自立活動

集団学習

形態：クラスを基本とした集団で行う。必要に応じて小グループでの授業等も検討する。

内容：知的教科の目標・内容で行う。

設定する教科：小…音楽 図工 体育 生活

中・高…音楽 美術 保健体育 職業家庭 外国語

・AETによる授業は中学部・高等部の外国語で行う。

東俣野の時間：総合的な学習（探求）の時間

・中学部・高等部で設定する。

・内容によって、個別対応・集団での学習等で行う。

特別な教科道徳（道徳科）

・各教科・特別活動・自立活動に含めて行う。

「特別活動」

・「学級活動・ホームルーム活動」「学校行事」。

イ 日課表

時刻	平常 14:30 下校		短縮 13:45 下校		短縮 11:30 下校	
	児童・生徒登校					
9:30	朝の活動	1	左に同じ	1	左に同じ	1
10:00	朝の会	1		1		1
10:30	授業(課題/自立活動など)	1		1		1
11:00	授業(生活・音楽・図工・体育など)	1		1	帰りの会	0.5
11:30	給食準備	0.5		0.5	下校指導	0.5
11:45	給食	2		2	下校時刻 11:30	計 4
12:45	昼休み	1		1		
13:20	授業(課題など)	1		帰りの会 ~13:35	0.5	
				下校指導	0.5	
13:50	下校準備	0.5		下校時刻 13:45	計 8.5	
14:05	帰りの会	0.5				
14:20	下校指導	0.5				
14:30	下校時刻 14:30	計 10				

7. 訪問教育

訪問教育は、児童生徒の健康の様子や家庭の状況により、通学が困難な児童生徒に対し、教員が家庭等を訪問して行う。個々の児童生徒に対する訪問日数については、週3日を限度に児童生徒の体調や負担を考慮しながら、保護者と相談をして決める。1回あたりの指導時間は2時間とする。集団学習の場を保障するため、スクーリング（登校しての学習）をすることもできる。

8. 児童生徒数

(令和4年4月7日現在 *内、訪問教育5名)

学部	小学部							中学部				高等部				総計
学年	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3	計	
人数	0	6	2	4	5	6	23	1	3	1	5	7	3	4	14	42

9. 発達の様子

内容		児童・生徒の実態	人数	内容		児童・生徒の実態	人数
食	摂食の様子	主に経管栄養	13	排泄	おむつ使用	27	
		全介助	16		おむつがぬれたことをしらせる	1	
		部分介助	7		時間排尿で成功することがある	7	
		なんとかひとりで	5		尿・便意を知らせる	3	
	経管栄養のみ	13	その他（導尿など）		3		
	食形態	離乳初期程度	11	着脱衣	全介助	23	
		離乳中期程度	0		介助に応じる	15	
		離乳後期程度	2		部分介助	3	
普通食程度		15	なんとかひとりで		0		
移動	室内	抱き介助	21	社会性・言語 (注1)	表出	快・不快を表す	23
		寝返り、座位、膝立ち等による移動	13			有意味の発声がある	6
		つかまり立ち、介助歩行	6			喃語程度	4
	独歩	1	ことば・会話がある			8	
	室外	バギー・車椅子等	40		理解	感覚レベルのコミュニケーション	17
		介助歩行	1			賞賛・禁止がわかる	1
独歩		0	わかることばがある			14	
手の運動	手掌にふれても握らない	6	の関わり 医療機関と (注2)			常時必要	10
	手掌にふれた物は握る	11		定期的・度々必要	27		
	手を伸ばしてつかむ	4		時に必要	4		
	小さな物をつかむ	10		特になし	1		
	両手で持ちかえる	10					
在籍児童・生徒数						42	

注1. 社会性・言語の欄は、音声・言語の表出、理解とともに、広くコミュニケーション能力の程度を示す。

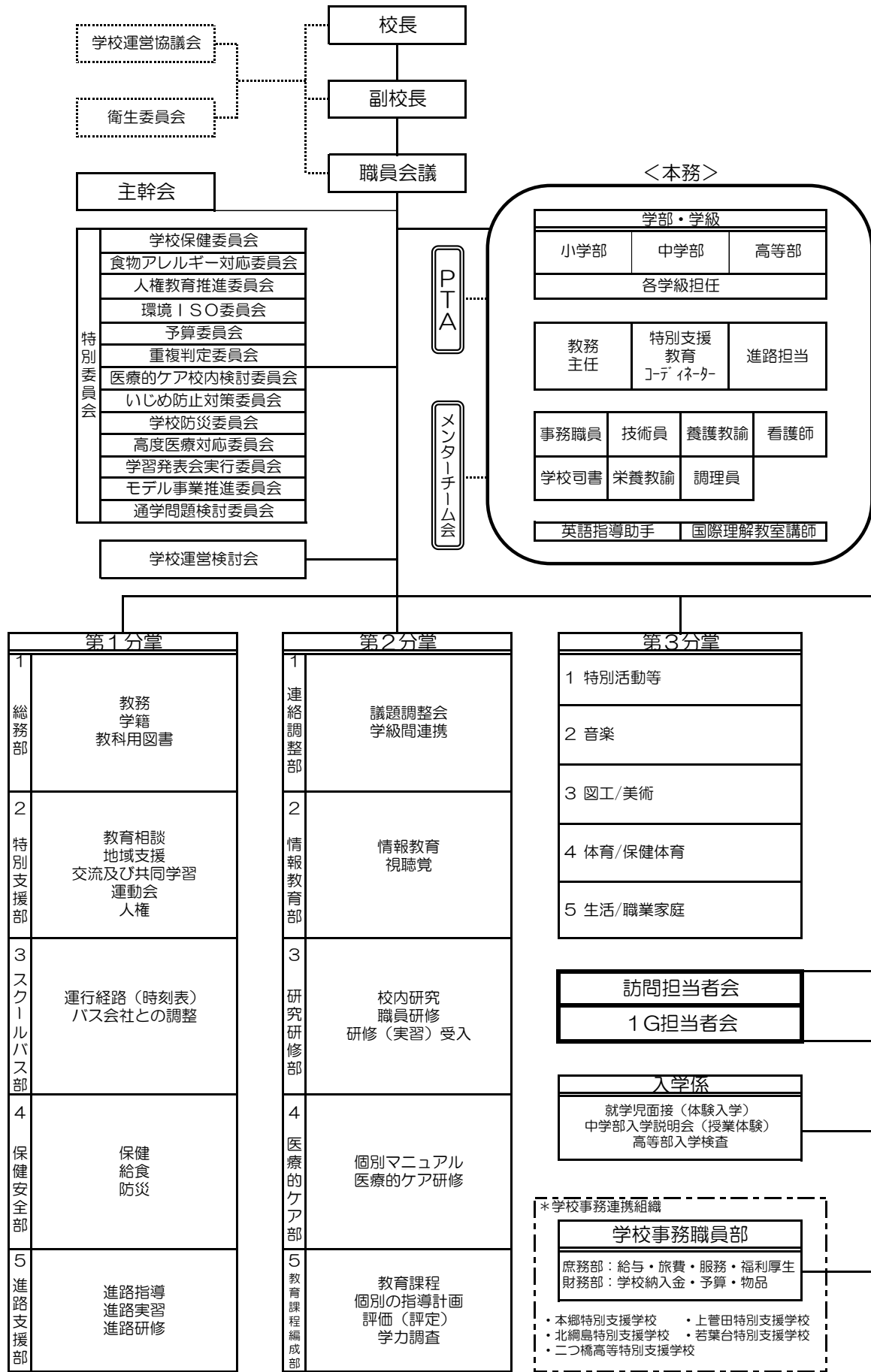
注2. 週1回以上の通院や、常に医療的管理（気管切開部吸引・在宅酸素・呼吸器）を必要とするものを「常時」にし、月1回以上の定期通院や、入退院があるものを「定期的・度々必要」とした。年間を通して定期的な検診、必要に応じての検診は「時に」とした。

注3. 「病弱」のみの生徒が1名在籍。そのため、「医療機関との関わり」以外は41名で集計。

10. 職員数

	校長	副校長	主幹教諭	教諭	主幹養護教諭	養護教諭	事務職員	栄養教諭	給食調理員	技術員	看護師	学校司書	職員アシスタント	職員室	AET/ IUI	合計	学校医				薬剤師	臨床医		合計
																	内科	眼科	歯科	耳鼻科		小児科	リハ科	
男	1	1	1	17	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	1	25	1	1	1	1	1	2	1	8
女	0	0	1	25	1	2	2	2	10	1	5	1	1	1	45									
計	1	1	2	42	1	2	4	2	11	2	5	1	1	2	70									

11. 学校運営組織・校務分掌

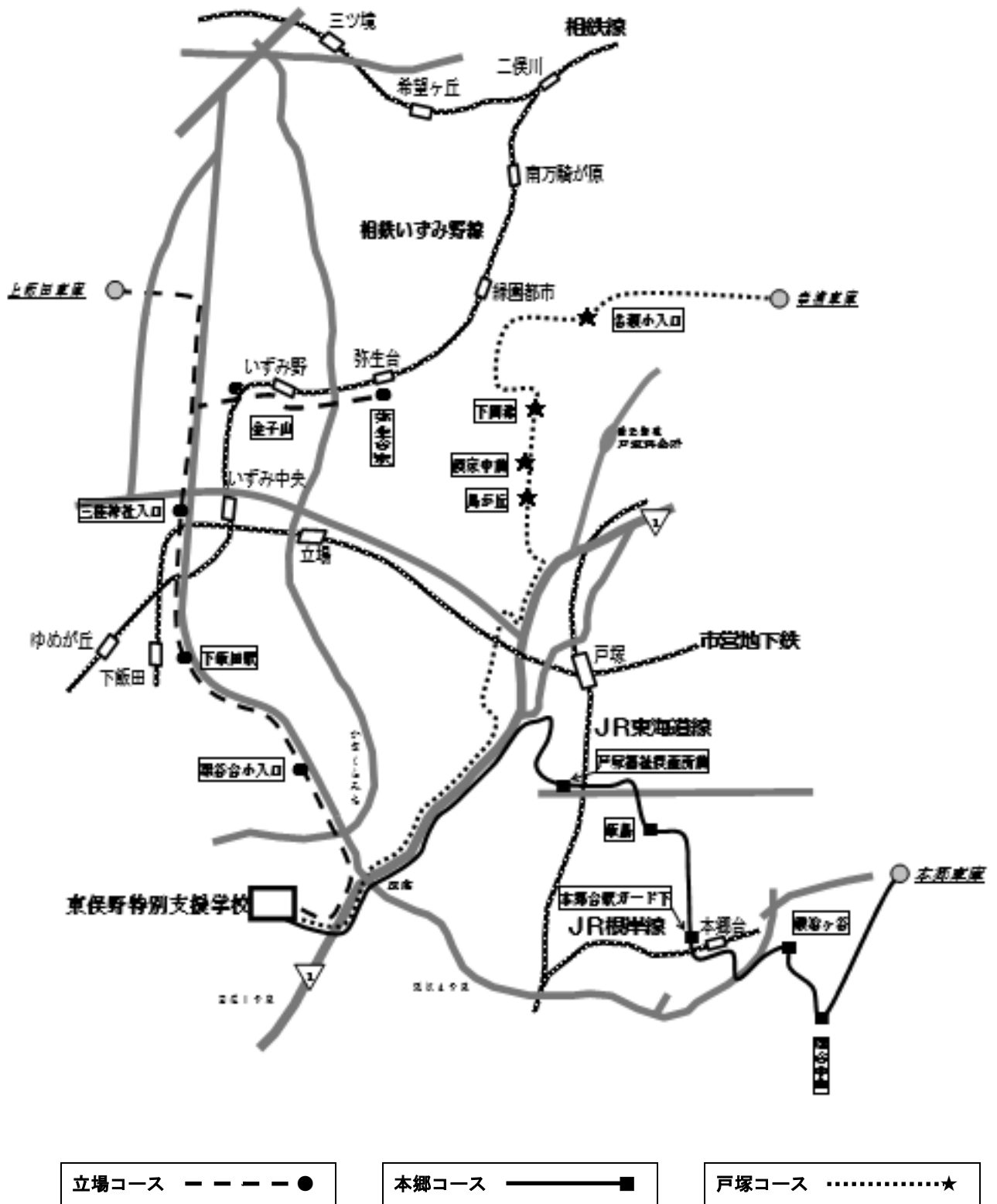


12. 主な年間行事予定

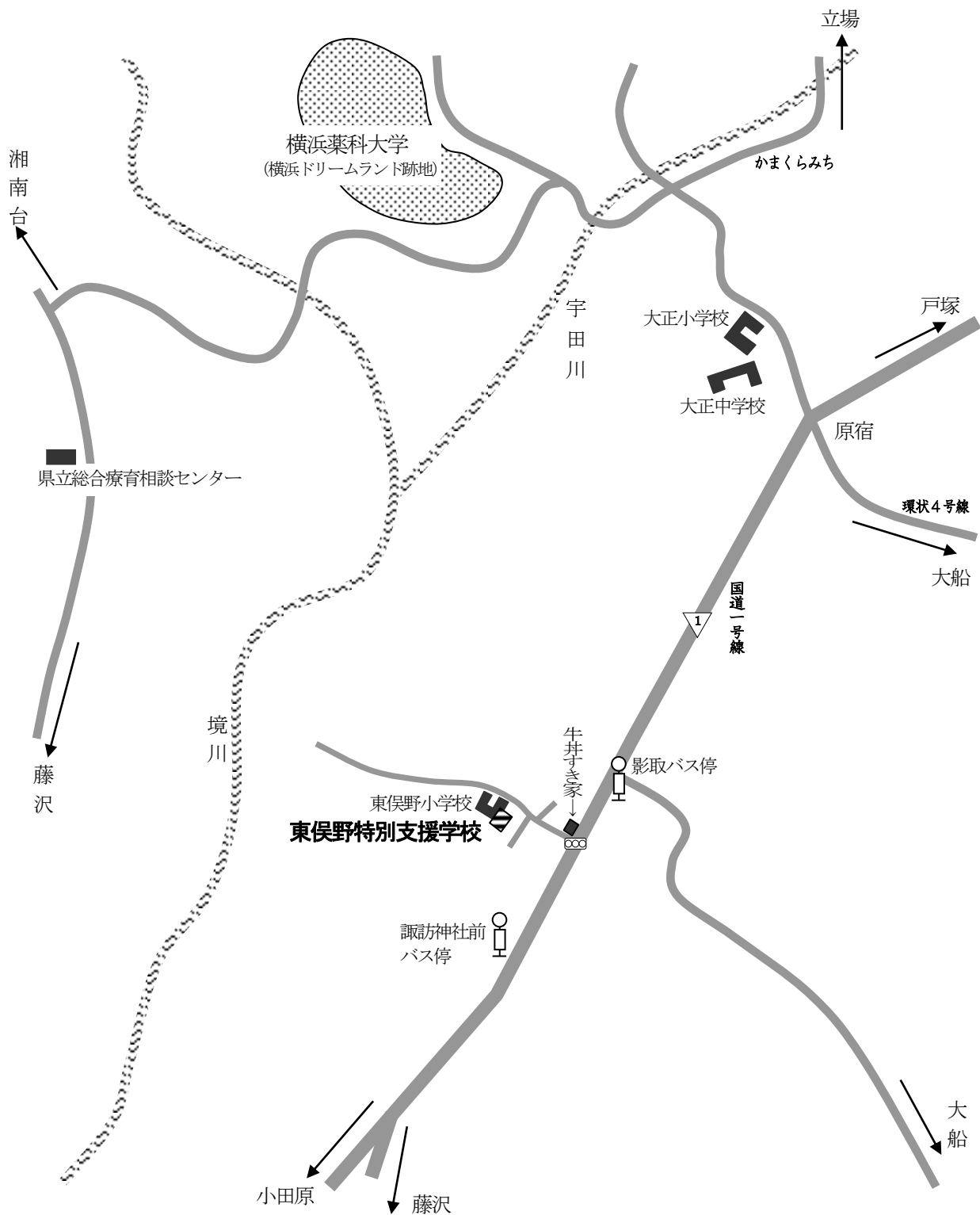
	儀式等	学芸・体育	遠足 宿泊学習 修学旅行	保健	防災	その他 (面談・進路等)	P T A
4	着任式 前期始業式 入学式	入学おめでとう会		身体測定(体重測定):年数回 神経内科検診、尿検査 心電図検査、眼科検診	安全点検 (毎月) 避難訓練	保護者説明会 学級懇談会 家庭訪問	実行委員会 (年7回) 総会 定例会(年10回)
5				内科健診、耳鼻咽喉科検診 胸部X線検査、歯科検診	小学校との 合同避難訓練	家庭訪問 個人面談	神肢P連(年5回) 市P連(年4回) 広報『ひまわり』 発行
6	開校記念日	ペアクラス交流(予定) (~11月)	修学旅行(高3) 校内宿泊学習 (中1・2)	神経内科検診		進路説明会 高3現場実習(~適宜) 学校運営協議会	
7		集会		神経内科検診 大掃除			
8					避難体験学習	夏季事業所見学会	
9		集会 小学校との合同作品展	校内宿泊学習 (小4・5)	神経内科検診	総合防災訓練	高:一日体験実習(~適宜) 中:事業所見学 個人面談	
10	前期終業式 後期始業式	東伊野はびたき スポーツフェスティバル	遠足	眼科検診、内科健診 耳鼻科咽喉科検診 歯科検診		学級懇談会	
11			修学旅行 (小6中3) 校外宿泊学習 (高1・2) 遠足	神経内科検診		高等部 入学希望者説明会	広報『ひまわり』 発行
12		学習発表会		大掃除		高等部入学検査 学校運営協議会	進路懇談会
1		集会		学校保健委員会			
2		集会		神経内科検診		就学児面接/体験入学 中学部入学説明会 学校運営協議会 個人面談	
3	卒業式 修了式 離任式	卒業おめでとう会		大掃除		学級懇談会	

*感染症の影響により、行事の延期・中止等の場合あり。

13 スクールバスコース



14. 学校案内図



- ① JR/地下鉄 戸塚駅より
神奈中バス 藤沢駅ゆき 「影取」下車7分
- ② JR/小田急/江ノ電 藤沢駅より
神奈中バス 戸塚方面ゆき 「諏訪神社前」下車8分